

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	職員研修に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	2	
政策	計画の実現のために	担当課室	総務課			
施策	効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	井上 知子			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	人材育成基本方針に基づき、人材育成を実現していくため、研修計画の見直しとその計画の実施を行う。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	人材育成基本方針に基づき、人材育成を実現していくため、研修計画の見直しとその計画の実施を行う。前年度よりも動画等に対応する研修を増やす。
②①に基づく取組み結果	令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響で一部研修を取り止め、一部の研修を動画等により集合せず実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	全職員	意図(対象をどうするのか)	求められる職員像に必要な能力を職員が身につけている
②事務事業の概要	人材育成基本方針に基づき、人材育成のため全職員に対して、それぞれに求められる各種研修を実施し、職員の能力開発を実現する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	各公共団体の独自性が求められる昨今においては、市民のために動ける職員、より高い目標を達成する自律型職員、組織力を活かせる職員が求められる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	①令和2年度研修計画の策定 ②階層別研修・実務研修の実施 ③派遣研修・自主研修の実施						
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i	職員数(二役、教育長を除く)	722	733	755	人	鎌ヶ谷市職員配置録
	ii	研修受講人数	1419	1305		人	鎌ヶ谷市職員研修概要
	iii	研修受講人数/職員数	197	178		%	業務取得
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算	
事業費(千円)	2,651	5,422	金額(千円)	内容		3,721	
国支出金(千円)			454	階層別研修			
県支出金(千円)			182	実務研修			
市債その他(千円)			59	派遣研修			
一般財源(千円)	2,651	5,422	0	自主研修		3,721	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	改定した人材育成基本方針に基づいた研修計画の見直しとその計画を実施していく必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	人材育成基本方針に基づき職員が必要な能力を身につけるため、研修・能力開発を実施する必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	R1からの繰越	
		R1⇒R2繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由			流用・充当			
	令和3年度への繰越額(単位:千円)					

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	基幹系ネットワークリプレイス事業	会計	款	項	目	多額経費
政策	計画の実現のために	一般	2	1	10	○
施策	効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室	総務課			
		担当課室長	川島 隆			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	基幹系ネットワーク機器等に関する通信の負荷や経年劣化を考慮し、必要に応じて末端のハブや、ケーブル交換等を行う。	③令和3年度に取組む改革・改善内容
②①に基づく取組み結果	経年劣化した末端ハブやケーブルの交換等を行った。	

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	基幹系ネットワーク機器	意図(対象をどうするのか)	ネットワークの安定稼働
②事務事業の概要	基幹系ネットワーク機器及びケーブルをリプレイスする。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	今回のリプレイスでは、機器の故障による障害発生は減少することとなるが、人的要因によりネットワーク障害が発生する可能性があることから、日頃の職員教育とともに、引き続きシステム面で可能な対策を次期リプレイスに向けて検討していく。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	基幹系ネットワーク機器等の交換により、システムの安定稼働を保持できた。						
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i	稼働率		99.9	99.9	%	計画停止を除く停止時間を8時間以内(1開庁日程度)に留める
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算	
事業費(千円)	1,596	9,578	金額(千円)	内容		0	
国支出金(千円)			9,578	使用料			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	1,596	9,578					

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	基幹系ネットワークの端末へ接続するための末端ケーブルは経年劣化しているものがあるため、状況に応じて個別に対処する必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価	1終了
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	基幹系ネットワークリプレイスが完了し、経常経費へ移行したため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	リプレイス完了	令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	リプレイス完了	9,578	9,578	当初	9,578	9,578	R1からの繰越
				R1⇒R2繰越			現年分
③達成状況	完了						
④未完了・非着手の理由		令和3年度への繰越額(単位:千円)					0